



スイッチの状態を確認する

Install and maintain

NetApp
February 13, 2026

目次

スイッチの状態を確認する	1
ヘルスチェックの概要	1
イーサネットスイッチの監視を管理する	1
ONTAPが監視できるようにスイッチエントリを作成します	1
スイッチを削除せずに監視を無効にする	1
不要になったスイッチを削除する	2
イーサネットスイッチの監視を確認する	2
接続されたイーサネットスイッチの監視を確認する	2
ファームウェアとRCFのバージョンが最新であることを確認します	3
管理ネットワーク接続を確認する	3
アラートのトラブルシューティング	3

スイッチの状態を確認する

ヘルスチェックの概要

ヘルスマニタは、クラスタ内の特定のクリティカルな状態をプロアクティブに監視します。

現在発生しているイーサネット スイッチ ヘルス モニターのアラートを表示するには、次のコマンドを実行します。
`system health alert show -monitor ethernet-switch`

利用可能なイーサネット スイッチ ヘルス モニターのアラートを表示するには、次のコマンドを実行します。
`system health alert definition show -monitor ethernet-switch`

イーサネットスイッチの監視を管理する

ほとんどの場合、イーサネット スイッチはONTAPによって自動的に検出され、CSHMによって監視されます。スイッチに適用されるリファレンス コンフィギュレーション ファイル (RCF) により、Cisco Discovery Protocol (CDP) や Link Layer Discovery Protocol (LLDP) などが有効になります。ただし、検出されないスイッチを手動で追加したり、使用されなくなったスイッチを削除したりする必要がある場合があります。メンテナンス時など、スイッチを設定内に保持したままアクティブ モニタリングを停止することもできます。

ONTAPが監視できるようにスイッチエントリを作成します

使用 `system switch ethernet create` 指定されたイーサネット スイッチの監視を手動で構成し、有効にするコマンド。これは、ONTAP がスイッチを自動的に追加しない場合、または以前にスイッチを削除して再度追加する場合に役立ちます。

```
system switch ethernet create -device DeviceName -address 1.2.3.4 -snmp
-version SNMPv2c -community-or-username cshm1! -model NX3132V -type
cluster-network
```

典型的な例としては、[DeviceName] という名前のスイッチを追加し、IP アドレスを 1.2.3.4 にし、SNMPv2c 資格情報を **cshm1!** に設定します。使用 `-type storage-network` の代わりに `-type cluster-network` ストレージスイッチを構成する場合。

スイッチを削除せずに監視を無効にする

特定のスイッチの監視を一時停止または停止したいが、将来の監視のために保持したい場合は、そのスイッチの `is-monitoring-enabled-admim` パラメータを削除するのではなく、そのまま残します。

例えば：

```
system switch ethernet modify -device DeviceName -is-monitoring-enabled
-admin false
```

これにより、新しいアラートや再検出を生成せずに、スイッチの詳細と構成を保持できます。

不要になったスイッチを削除する

使用 `system switch ethernet delete` 切断されたスイッチや不要になったスイッチを削除するには:

```
system switch ethernet delete -device DeviceName
```

デフォルトでは、このコマンドは、ONTAP が現在 CDP または LLDP を介してスイッチを検出していない場合にのみ成功します。検出されたスイッチを削除するには、`-force` パラメータ:

```
system switch ethernet delete -device DeviceName -force
```

いつ `-force` が使用されている場合、ONTAP が再度検出すると、スイッチが自動的に再追加される可能性があります。

イーサネットスイッチの監視を確認する

イーサネット スイッチ ヘルス モニター (CSHM) は、検出したスイッチを自動的に監視しようとしませんが、スイッチが正しく構成されていない場合は、監視が自動的に行われない可能性があります。ヘルスマニタが使用中のスイッチを監視するように適切に設定されていることを確認してください。

接続されたイーサネットスイッチの監視を確認する

接続されているイーサネット スイッチが監視されていることを確認するには、次のコマンドを実行します。

```
system switch ethernet show
```

もし `Model` 列に *OTHER* または `IS Monitored` フィールドに「**false**」と表示されている場合、ONTAP はスイッチを監視できません。通常、**OTHER** の値は、ONTAP がそのスイッチのヘルス モニタリングをサポートしていないことを示します。

その `IS Monitored` フィールドは、指定された理由により *false* に設定されています。`Reason` 分野。



コマンド出力にスイッチがリストされていない場合は、ONTAP そのスイッチが検出されていない可能性があります。スイッチのケーブルが正しく接続されていることを確認します。必要に応じて、スイッチを手動で追加できます。見る"[イーサネットスイッチの監視を管理する](#)"詳細については、こちらをご覧ください。

ファームウェアとRCFのバージョンが最新であることを確認します

スイッチが最新のサポートされているファームウェアを実行していること、および互換性のある参照構成ファイル (RCF) が適用されていることを確認します。詳細は以下をご覧ください。[https://mysupport.netapp.com/site/downloads/NetAppサポート ダウンロード ページ](https://mysupport.netapp.com/site/downloads/NetAppサポートダウンロードページ)。]

デフォルトでは、ヘルス モニターは監視にコミュニティ文字列 **csbm1!** を持つ SNMPv2c を使用しますが、SNMPv3 も設定できます。

デフォルトの SNMPv2c コミュニティ文字列を変更する必要がある場合は、必要な SNMPv2c コミュニティ文字列がスイッチに設定されていることを確認してください。

```
system switch ethernet modify -device SwitchA -snmp-version SNMPv2c  
-community-or-username newCommunity!
```



見る"[オプション: SNMPv3 を構成する](#)"SNMPv3 を使用するための設定の詳細については、こちらをご覧ください。

管理ネットワーク接続を確認する

スイッチの管理ポートが管理ネットワークに接続されているかを確認します。

ONTAPが SNMP クエリとログ収集を実行するには、正しい管理ポート接続が必要です。

アラートのトラブルシューティング

クラスター内のイーサネット スイッチで障害、リスク、または重大な状態が検出されると、アラートが生成されます。

アラートが発生した場合、システムのヘルス ステータスではクラスターの劣化ステータスが報告されます。発生したアラートには、システム状態の低下に対応するために必要な情報が含まれます。

利用可能なイーサネット スイッチ ヘルス モニターのアラートを表示するには、次のコマンドを実行します。

```
system health alert definition show -monitor ethernet-switch
```

ナレッジベースの記事を参照 "[スイッチヘルスマニターアラート解決ガイド](#)"アラートの詳細な解決方法については、こちらをご覧ください。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。